



はなのき通信

2023年3月 発行 第153号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール hananoki@aichinet.ne.jp

平和への願い

副会長 浅井恵子



2022年度最後のセミナーⅢは61名の参加で、多文化共生の様々な取り組みに感銘を受けました。トンガの災害支援募金も協力いただきました。今年の事業は、どの取り組みも興味深い行事となりました。with コロナ禍にもかかわらず多数の参加を得ました。

取り分け、チャリティーコンサートは、名古屋能楽堂を埋め尽くし盛況に終わり、はなのき会員の結集力・底力を感じました。ウクライナはチェルノブイリ原発事故そしてロシアの侵攻と二度にわたり国を追われる状況に憤りを禁じえません。ウクライナの人々に平和な暮らしが訪れることをせつにせつに願うばかりです。全ての事業を無事に終了でき、役員一同安堵しております。会員の皆様のご協力ありがとうございました。

素晴らしかった！ チャリティーコンサート



渡辺副会長がエプロン姿で、皆の弁当を用意



開演直前の能楽堂舞台と観客

11月23日（水・祝）に、当初の計画どおり実施をした。8月15日から発売を始めたチケットは9月末で完売し、幹事も驚くほどの売れ行きであった。出演のナターシャ・グジーさんの人気に重ねて、8月14日にCBCテレビで放映された「情熱大陸」に彼女が出演されたことも大きかったと推測する。

13時開場、14時開演としたが、雨天にもかかわらず観客の列ができた。受付担当が、プログラム等配布物をあらかじめ配ってくれるなど、手際よく待たせない工夫をしてくれたので、混乱もなく、会場に入っていた。ナターシャの美声、姿、そして日本人がよく知っている歌の数々、バンドゥーラの音色のすべてに魅了されると、多くの感想が寄せられた。未だに、顔を合わせると、「素晴らしかった！」と言ってくる方もいて、苦勞が吹き飛んだ感がある。

チケット600枚の売り上げばかりか、寄せられた寄付金、当日募金箱に入れてくださった募金を合わせると、1,841,678円もの収入があり、かかった費用は、出演料、音響等技術料、会場使用料、養生費用、ちらし、チケットの印刷代等々で808,817円であった。そこで、駐日ウクライナ大使館へ50万円、日本ウクライナ文化協会に50万円の寄付をすることできた。12月22日には会長、副会長の3名が日本ウクライナ文化協会の事務局を訪ね、川口リュドミラ理事長に目録を手渡した。冬の寒さにも苦しんでいる祖国の方々に温かいものが贈られると喜んでくださったという。

（名古屋ブロック：松原美恵子・清水たま子）



スタディーツアー 福井

笑うは心の掃除なり

～大安禅寺・新命和尚生き生き法話と精進料理～

【日時】2022年10月23日(日)

【会場】大安禅寺・一乗谷朝倉氏再現遺跡あと

【参加人数】30名



コロナ禍でようやく実現の運びとなったツアーだった。気軽に旅行に行ける状態ではなく、その証拠にコロナ予防接種証明書持参、身分証明書も必要とあって少々堅苦しいものだった。名古屋駅集合朝が早い。最寄り駅を希望しても、結局の所名古屋駅とするしかない。ギリギリの妥協で8時15分に集合出発となった。係として早めに家は出たが名古屋駅は既に人の群れで混雑していた。2名の方は体調不良で当日欠席になったので残念に思う。30名でバスは少々遅れて出発した。最初はツアー参加者が集まらず尾張ブロックはもちろん他のブロックにもお願いし、はなのき会員以外の方にも参加していただいた。バスが出発して間もなく、旅行支援金として4,000円ものキャッシュバックがあった。このお金でお土産を買いなさいということだと思ったがなんであれ嬉しくありがたかった。

目指す大安禅寺は江戸時代から続く名刹である。織田信長によって焼失された寺の跡に、福井藩主松平家の菩提所として建立されたものである。現在の和尚は高橋玄峰氏で新命和尚として、若い人や地域活性化のために禅の布教活動に力をいれている。人気に違わず若々しく法話も歯切れがいい。一に掃除(心の掃除)二に笑顔、三、四に元気おかげ様の気持ちで過ごすことと分かりやすい。もっとゆっくりと法話を聞きたい気もしたが、バスが渋滞に巻き込まれ到着が遅れたこともあり、次の予定がある和尚さんは風のごとく足早に立ち去られてしまった。

後を引き継いで女の方が周辺のことなど説明して下さった。本堂裏の山あいの階段を上ったところに高さ約4mほどもある墓塔のある松平家の廟所があることや、令和の大修理とかで本堂の建て替えの現場が見学できるなどだった。めったにないチャンスと早速狭くて殆ど垂直な梯子を上り、板を敷き詰めた狭い足場を慎重に歩いた。少し進むとちょうど屋根の部分と同じ高さぐらいの目線で工事中の建物を眺めることができた。複雑だが整然とした木の組み合わせにしばし呆然とした。何故か、木造にこだわったという名古屋城が一瞬頭をよぎった。

お待ちかねの精進料理の時間になった。テーブルの上の敷物に赤い漆塗りの器が大小10個ぐらい。その中に色とりどりの食べ物が入っている。その横に唯一外側が黒く中は赤いお椀に蕎麦が入っていた。華やかだ。朝早くから殆ど何も食べていなかったので体中に浸みわたった。

食後周辺を散策し、次の目的地朝倉氏一族の一乗谷再現遺跡にむかった。

1573年織田信長との戦いに敗れ朝倉氏は滅亡し城下町も灰燼に帰したとある。戦国時代の城下町全体が遺跡として残された全国でもまれな大規模遺跡だそう。友人達と散策しながら気分は戦国時代の城下町の住人だった。平和の今を生きている自分をありがたいと思いつつ誰も時代に翻弄されながらしか生きられないと思った。未来に生きる子や孫達はどんな時代を生きていくのだろう。平和であって欲しい。

帰りのバスの時間になった。バスの中は景品付きのビンゴで楽しんだ。帰りはアッという間に名古屋駅についたように思った。楽しかったつかの間の非日常が無事終わった。



(尾張ブロック：原藤宏子・尾関幸代)

セミナーⅡ

氷河氷床 —地球を覆う氷に何が起きているのか—



杉山 慎 先生

と題して、愛知県青年海外協力隊を支援する会の開発教育セミナーと合同で行った。12月17日（土）14:00～16:00、JICA 中部セミナールームに定員 50 名のところに 64 名が集まった。

講師の北海道大学低温科学研究所教授の杉山慎先生のお話は実にわかりやすく、有難かった。

7月に第38回「講談社科学出版賞」を受賞されたというご著書『南極の氷に何が起きているか』を読んだが、私には難解だった。しかし、この場では噛み砕いて説明をしてくださり、集中して聞くことができた。雪からできた氷であること、陸の上にあること、それが氷河自身の重みでゆっくりと流れる、その氷の河を氷河と呼ぶという話から始まった。宇宙から見ると、南極、グリーンランドは大きな塊であり、氷河というには平らすぎるので、氷床というのだそうだ。もし、その氷が融けたら、海に流れ出す。すると海面が上がる。日本だけの問題ではないが、日本の人が住んでいる所の70%が水没するであろうという怖い話も。他に南極観測隊の話、グリーンランドへ毎年大学院生と計測に行く話等々、話題は尽きないが、予定されていた対談に移った。



司会の高橋ひろこさん（FM ラジオパーソナリティ）と対談しつつ、質疑応答もあり、杉山先生の温かい応答に、室内は和んだ。支援する会の坂本会長の演出も素晴らしかった。

杉山慎先生の幼稚園時代の園長先生の登場には、ご本人もびっくり。後で聞くと、坂本会長のお嬢さんが杉山先生と

同年、同じ幼稚園で、海外協力隊にも参加したのだという。園長先生のお姿をみて、杉山先生が顔をほころばせ、しわを寄せた人懐っこい笑顔を見せられた時は、会場から歓喜のどよめき起きたようだった。最後にお父様（支援する会相談役の杉山道生氏）からの質問、「電子産業の最先端で働き、今だってそれらの機器を使って仕事をしていると思うが、なぜ、スマホをもたない、テレビもない生活をしているのですか」には、皆が大笑いした。

（名古屋ブロック：松原美恵子・清水たま子）

セミナーⅢ

広げよう多文化共生!!

日時：2023年2月18日（土）10:00～12:00

場所：知立市社会福祉協議会（知立市福祉の里八ッ田）

西三河ブロックで検討を重ね、400枚のちらしを配り、ドキドキしながら当日を迎え、進行いたしました。



市長の『知立市の多文化共生への取り組み』から始まり、越智さや香さん『多文化を生きるこどもたち』、牧令奈さん『普通の主婦でもできること』の発表を拝聴。それぞれの講師の貴重な資料（グラフや写真、アンケート等）は、数字や写真にあふれ、とてもよくわかりました。勿論、お話からも熱い思いが伝わってきました。最後、トンガのアメリアさんが優しく踊りの解説をし、体全体手の先までしなやかに、会場の皆様に踊りの手ほどきをしました。「易しそうで難しい」と言いながらも、会場が一つになって楽しく踊りました。来賓の市長、国際交流協会会長も最後の踊りまでご一緒に。61名もの参加にびっくりし感激しました。講師、一般、はなのき会役員、西三河ブロックの皆様有難うございました。

（西三河ブロック：井上典子）

2023 年度 総会のお知らせ

日時：2023 年 4 月 9 日（日）9:00 開場 受付 9:00～9:30 分

場所：東海市芸術劇場 1 階多目的ホール

①第 1 部 総会 9:30～10:45

②第 2 部 東海市劇団木曜座 傘地蔵 & 講談 & 朗読

時間：11:00～11:45（10:50 開場）

後援：東海市教育委員会（一般の方も観覧可能）

神田陽童氏による細井平洲の講談&朗読



細井平洲とは東海市出身の江戸時代の儒学者。平洲先生は、藩政改革で有名な米沢藩主・上杉鷹山の師として活躍し、晩年には、尾張藩に仕え、藩校・明倫堂の初代督学となった人物です。

2022 年 12 月 23 日 中日新聞に掲載されました♥

ウクライナ支援に役立てて あいち国際交流はなのき会が 100 万円寄付

日本ウクライナ文化協会に 50 万円寄付

12 月 22 日に名古屋市内の事務所にて目録贈呈。川口リュドミラ理事長、榊原ナターリヤ理事、山崎タチアナ理事が同席しました。中日新聞が取材（23 日の中日新聞県内版掲載、同 WEB 版掲載）

駐日ウクライナ大使館へ 50 万円の寄付

人道支援の募金ありがとうございました♥

2022 年度は年間を通して募金活動を行ってきました。集まった募金 35,000 円はウクライナ支援として日本ウクライナ文化協会へ物資購入費に充てていただく形で贈呈しました。トンガ災害募金は、現地へ帰る方に託し、津波被害者支援に寄付する予定です。

耳よりニュース

- ・日本伝統文化研究会の佐治勝代さんが琴伝流大正琴「琴歌会」第 34 回感謝の集いを開催しました。
- ・名古屋ブロック長谷川友子さんの写真展がありました。

第 22 回「写童」写真展 2023 年 1 月 11 日（水）～15 日 愛知芸術文化センター
「アジアの笑顔に学ぶ」出版記念 長谷川友子写真展
2 月 7 日（火）～12 日（日）ギャラリー-blanka

- ・尾張ブロック荻野周子さんが「地球家族～台所からの国際交流～」を出版しました。

2023 年 1 月 24 日付け中日新聞に掲載！今後、尾張ブロック学習会にて活用します。

- ・玉本英子写真展「紛争地に生きる人々」2/19（日）～3/4（土）於 ウイルあいち 1 階
- ・地域開発みちの会はジェンダー平等に関するアンケートを実施しました。

愛知県女性地域実践活動交流協議会の協力のもと、愛知県下 54 市町村にアンケートを実施し、その結果と提言は地域開発みちの会ホームページ (<http://www.aichi-michinokai.com>) にあります。



編集後記：早いものでもう年度末の 3 月です。皆さんから寄せられた多彩な原稿を得て、はなのき通信 3 回目を発行でき、ほっとしたところです。ご協力ありがとうございました。（書記一同）